

マリンビジョンNewsは、サロマ湖地域の1市2町で構成するマリンビジョン協議会が、自然環境と共生した明るい未来を創造する漁村づくりに向けた活動を紹介する広報紙です。

お疲れさま！



12月22日、オホーツク海でのホタテ桁引き漁の今期操業を終了した船が、次々と湧別漁港の上架施設に引き上げられました。春まで陸上で保管されて塗装などのメンテナンスが行われます。今期は、湧別が12隻で30,590t、佐呂間は3隻で8,226t、そして常呂は13隻で33,432tの漁獲量で、全体では72,248tと前年より6,134t少ない状況でしたが、昨年と比較して価格が良好なことから、漁獲高には大きな期待ができそうです。好漁の成果に、操業船全28隻に思わず「お疲れさま」と、声をかけたくくなりました。

牡蠣まつり

11月23日、湧別漁業協同組合特設会場で牡蠣まつりが開催されました。平成15年に全国漁業協同組合連合会が、勤労感謝の日にグリコーゲンなどの栄養分豊富なカキを多くの人に食べてもらい日頃の疲れを癒してほしいとの目的で「牡蠣の日」が制定されたことに伴い、毎年実施しているものです。まつりには時間前から数百人が列をつくり、用意したカキ1箱約3kg入4千箱は1時間ほどで完売しました。また、会場内では、用意された炭火コンロで焼きカキを味わったり、地元JAが提供する野菜などを購入したり、ゆうパック受付特設テントに購入したカキを持ち込み地方発送する人々で賑わっていました。



物産まつり



12月11日、北見市常呂町多目的研修センターでところ物産まつりが行われました。常呂漁業協同組合のほか地元水産加工業者を中心に8業者が出店しました。悪天候にもかかわらず会場には1時間前から列ができ、サケフィレのほかホタテやツブ



の加工品、新巻鮭、野菜など、正月用やお歳暮用の物産を求める買い物客約2千人で賑わいました。なかでも、殻付きホタテは、用意した300箱がわずか10分ほどで売り切れる人気ぶりでした。

初競り

1月9日、湧別漁業協同組合地方卸売市場で初競りが行われました。開場に先立ち石本代表理事組合長の挨拶や来賓祝辞・乾杯に引き続き、集まった関係者約70名による三本締めが行われ、寒い会場には掛け声にあわせて白い息吹が立ち上り、一気に活気づきました。市場には、殻付き・剥き身カキ、養殖ホタテ、活メカレイなどが並び、カキを中心に高値で取引され、初競りに花を添えました。佐呂間では同日に約30名を、常呂では翌10日に約60名の関係者を集めて同じく開場されました。



イベント情報

2月10日：厳寒の焼き肉まつり(北見市) 2月11～12日：北見冬まつり(北見市)
2月26日：湧別原野オホーツク100km クロスカントリースキー大会(遠軽町・湧別町)

発行 サロマ湖地域マリンビジョン協議会
編集 サロマ湖地域マリンビジョン協議会事務局広報担当
〒099-6404 湧別町栄町112番地の1
湧別町総合支所産業振興課水産係
Tel 01586-5-3763 ・Fax 01586-5-2283
Mail sangyo@town.yubetsu.lg.jp

2012.1.15

